

◆各種活動団体との意見交換まとめ

実施日	団体名	テーマ	課題（弱み）	特徴（強み）	対応案
R1.7.16	君津商工会議所（青年部）	若い世代にとって魅力的な仕事の創出	・観光地がない	・土地が安い	・市の職員ボーナス20%アップ、ただし地域振興に使用
			・活用できていない農地が多い	・広大な市域を有する	・高層マンションを建てる
			・住みたいと思っても住宅がない	・大企業の日鉄がある	(木更津が3割補助している)
			・大型の分譲地がない	・ゴルフ場がある	⇒別荘として活用することもできる
			・企業の誘致が弱い	・都心から近くアクセスしやすい	・保育士不足に対し補助をして拡充する
			・駅前の空き店舗	・交通量が少ない	(横浜市で補助を行っている)
			・採石の産業がいつまでもつか	・飲み屋が比較的多い	・鉄鋼関連の学校を設置する
				・農産物が多い	・大学を誘致する
				・水が良い	・金谷移住プログラムのような取り組みを市が提供する
					・一週間に数日働けば生活ができ、残りの時間を自分に当てられる生活を支援
R1.8.6	君津市農業協同組合（青年部）	若い世代にとって魅力的な仕事の創出	・魅力がない	・東京や空港に近い	・木更津などと連携を強める
			・高齢化が進んでいるため、ノウハウを持った人が減っている	・強みと弱みがないのでアイデアしだいで強みを作りだせる	・耕作放棄地が多いので、使いやすいようにまとめるなどをする
			⇒臨時雇用で農業の知識を持った人が雇えなくなる	・ゴルフ場がある（ただし、そのまま帰ってしまいチャンスを他に繋げていない）	・農業が稼げないなどの悪いイメージを刷新し新規就農者を増やす
			・商業施設がない	・手軽にイナカを体験できる	・住みながら勉強できるなど、新規就農しやすい環境を提供する
			・働く場所がない		・空き屋を有効活用する
			・病院、学校、お店といった生活するのに必要なものが少ない		・テレワークによる働く環境を整え、推奨する
			・使いみちのある土地がほとんどない		・バスターミナル周辺に住宅と商業施設を整え生活
			・住みたい場所がない		・女性が望む時に一時的に働ける場を提供する（子育てと両立できる環境作り）
			・君津と言ったら「これ」というモノがない		・新規就農希望者と農業を教える農家がマッチングするアプリの開発
			・子どもが減っているので子どものいる家族が転入したくなる		・市内2校の農業高校を活かした取り組み
R1.8.8	東京大学狩人の会 代表 小林氏	移住定住や関係人口等の創出	・交通の便が悪い。	・都市的にちょうどいい。（人口規模等含め）	・芸大生は静かな場所を好むため、芸術家を呼び込むような取り込み。（コンプレッサーなどを使う際、音が出るため都会では活動しづらい面もある。）
			・国道465号が狭い。（房スカ以南）	・ジョイフル本田がある。	・アウトドア（キャンプ、沢めぐり、きれいな滝など）など自然環境を生かした取り組み
			・電波が悪い（奥米だとソフトバンク以外使えない。）	・霧が立ち、毎朝変化する。星がきれい。	(趣味嗜好に没頭できるまちとか…)
			・観光案内看板が少ない。（開墾場など面白い滝や沢がたくさんあるのに…）	・様々なアウトドアが楽しめる。	・リモートワークなどを通じた週末居住。（情報が集まるようなコミュニティができれば…)
			・都心に通うなら、君津BT周辺じゃないと…。	・三島湖のブラックパスは擦れていない。	
			・家（空き屋）を探すのに自治体が仲介してもらうなどの協力がなくて難しい。	・魅力的なつり橋がある。	
R1.8.23	児童室飾りつけ隊	結婚・子育て・出産など	・子ども向けの集まるスポットが少ない	・医療費が無料	・都市に着かれた里山に憧れ、半農半〇的な暮らしをしたい人に魅力あるオーガニックビレッジを作る
			・公園など遊ぶ場所が少ない（意見多数）	・都心に近く自然も豊か	・君津といえばアピタだが、少し魅力に欠けるのでもう少しおしゃれで素敵な複合スペースを取り入れる
			・仕事の幅が狭い（介護、工場系が多い）	・ゴミの分別がキッチンとされている	・東京からも来なくなるプレイパーク（蓮沼ウォーターガーデンのような人の集まる場所、日常的に幅広い人が集まる）
			・異世代交流の場がない	・田舎ならではの横のつながりがステキ	・移住へのアクションを増やす
			・意外と高速バスがあり便利なのが知られていない	・育児相談しやすい（市役所1Fの子育て支援相談室）	・未使用の学校、幼稚園の跡地を、芸術家の作業スペースやレンタルオフィスなどへ
			・市の手続きを全て行えない（上総地区）	・上総地区には一生懸命なお母さんが多い	・空き屋バンクの情報を増やす（移住、素敵なカフェ、農的暮らし、リノベーションなど目指す）
			・子育て通信、子育て支援センターが2歳頃から利用しづらい	・上総地区からどこの海も1時間以内で行ける	・子どもの安全のためにも道路の整備をする
			・市役所が中心地じゃない	・公立保育園の園庭開放を毎日している	・福祉（障害児など）の情報を市から発信する情報発信ツールを設ける
			・ゴミ袋が有料、乳幼児がいる家庭に配られるゴミ袋も(小)で使いづらい	・子育て通信、子育て支援センターがよかった	・大きな公園を作り、子どもたちが交流できる場所を作る
			・障害児支援が少ない（補助金・教育）	・おじいちゃんおばあちゃんに助けられている人が多い	
			・障害児が生まれた時の手続き支援をこちらから聞かないと教えてくれない。	・君津、市原、鴨川、大多喜、茂原の市街地に同じ時間くらいで行ける	
			・頼れる人が近くにいない人が子どもを預けられる場所がほしい		
			・学校の統合で部活など不安		
			・習い事が少なくて遠い、送迎が大変		
			・産婦人科が遠い（上総地区）		
			・子ども用品を扱う店が少ない		
			・子どもの放課後の遊び場がない		
			・集落に未婚者が5人ほどいて将来不安		
			・子どもが少なくて1クラスしかない…		

